

ご挨拶



公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

理事長 **柏原 康夫**

本日は、けいはんなビジネスメッセ 2018 にご来場いただき、誠にありがとうございます。

けいはんなビジネスメッセは、産学公連携の促進やビジネスマッチングの推進を通じて、けいはんな発の新しい産業の創出や地域産業の活性化を目指す場として、各方面のご支援、ご協力のもとに開催しております。

13 回目となる今回は、「つながる技術、共創する未来へ」をテーマに、環境・エネルギー、機械・金属・化学等のものづくりや ICT、バイオ、医療・介護ヘルスケア等の幅広い分野から、120 の企業様や大学・研究機関様にご出展いただき開催いたします。

また、今回のメッセは、国際的な地域間交流やビジネス交流・技術交流によるネットワークの形成を通じてスマートシティを共創・発信する目的で、けいはんな学研都市で開催されている「京都スマートシティエキスポ 2018」と同時開催いたします。

さて、けいはんな学研都市は、立地施設が 143 となり、それぞれ活発に業務を展開されております。本年 4 月には理化学研究所の iPS 細胞創薬基盤連携拠点が開所し、大学、研究所、医薬品産業界とのネットワークにより、アルツハイマー病などの神経疾患をはじめ、様々な治療薬の研究開発が進められるものと期待されています。

また、高度な音声認識・翻訳機能を持つ多言語音声翻訳技術、中赤外線レーザーによって指を置くだけで血糖値が測定できる技術、さらには脳情報科学による精神疾患の診断と治療技術など、実用化に近づきつつあるものも少なくありません。

一方で、「RDMM 支援センター」や「リサーチコンプレックス事業」などオープンイノベーションを基軸とする、新たなプロジェクトを持続的に創出する仕組みづくりも一段と進んでおり、RDMM 支援センター事業では、住民目線のご意見やアイデアを研究開発・事業化に結びつける「Club けいはんな」も組織され、既に約 2,000 名の住民の皆様にご参加いただいております。

さらに、本都市の優れた技術シーズを幅広い分野の産業ニーズに結び付け、事業化の促進や新事業の創出を図るマッチング活動、コーディネート活動も積極的に推進しているところであり、これからも、関係の皆様方との連携のもと、地域産業の活性化と新産業創出への取り組みを通じて、けいはんなはもとより、広く関西エリアの産業振興に貢献してまいりたいと考えております。

本日ご来場の皆様方には、このメッセの場をぜひ有効にご活用いただき、新たなビジネスチャンスを掴んでいただけることを期待しています。